



2002年1月12日に開催された「てら子屋2001冬の巻」は、小学校3年生以上を対象とした「ワークショップ&コンサート」。子どもたちが身近な楽器であるリコーダー（たて笛）に親しみながら、プロの演奏家と一緒に音楽の楽しさを体験します。さて、どんな音色が“風の谷”に響きわたるでしょうか？

## ヘンデルの ガボットに挑戦！

リコーダー（たて笛）は、小学校に入學して最初に習う吹奏楽器です。音を出すのが簡単で、手軽に演奏の楽しさを味わえることから、早くから学校教育の場で取り入れられてきました。

第1部は、若手リコーダー奏者・江崎浩司さんと一緒に、そうした身近な楽器であるリコーダーを使って、アンサンブルの楽しさを体験します。みんなで演奏する曲は、G・F・ヘンデルのガボット。ヘンデルは今から300年ほど前に活躍したドイツの作曲家です。リコーダーのための曲をたくさん作曲しており、中

ろで、早速アンサンブルに挑戦です。

バロック時代（17〜18世紀）に作られたこの曲は、音域も広く、小学校中学年では習わない高い音や、指使いの難しいイシ、ド#などが出てきます。そうした音を初めて吹く子どももいて、最初はなかなか音がそろいません。「高いソやラの音を出すときは親指を立てて、息をたくさん入れてあげようね」。江崎さんは、机を回りながら一人ひとりていねいに教えていきます。

開始から約2時間。マンツーマンによる特訓（？）の甲斐もあって、バラバラだったハーモニーもだんだんそろってきました。レッスンの合間には、リコーダーを使っていろんな音を出す遊びも教わります。救急車がサイレンを流しながら通りすぎる音を、江崎さんがリコー

# 音の色を感じよう

リコーダーで、ふんわり・あつたか・心地よさ

ワークショップ

コンサート

「てら子屋2001冬の巻」

もガボットは、親しみやすいメロディーが特徴の美しい曲です。

ワークショップでは、まずリコーダーの指使いを確認することから始まりました。「リコーダーにはバロック式とジャーマン式の2種類があるんだよ」と江崎さん。タイプによって指の動かし方が少し違うので、注意が必要とか。一人ずつ音を出して、正しいポジションを確認していきます。ひと通り終わったらこ





## 練習の成果を コンサートで披露

ダーで吹いたときは、「スゴイ！」という声が上がりました。

休憩をはさんで、第2部は江崎浩司さんによるミニコンサートです。ピアノは、第1部でも伴奏を務めた長久真実子さん。イスを並べた風の谷幼稚園のホールは、子どもたちのお父さんやお母さんなどでいっぱいになりました。

まず江崎さんの演奏の前に、子どもたちが第1部で練習した曲を観客の前で披露します。「じゃあみんな、自信を持って吹こうね」。江崎さんの合図で、演奏が始まりました。緊張した面持ちで楽譜を追う子どもたち。ホールにリコーダーの柔らかな音色が響きます。やがて演奏が終わると、大きな拍手が。安堵の表情を見せる子どもたち。練習の成果を出し切ったその顔は、満足感で輝いていました。

続いて、いよいよコンサートの始まりです。かたわらの机の上には、いろいろな吹奏楽器が並んでいます。最初に手にしたのは、ところどころ竹のような節のある長い笛。これはバロック・オーボエと言います。オーケストラで使われる

### CLOSE UP! 江崎さんが吹いた楽器

江崎浩司さんがミニコンサートで演奏したのは、ワークショップでも使ったソプラノ・リコーダーをはじめとする6種類の楽器。ここでは、その歴史や特徴を簡単にご紹介します。

#### ●リコーダー (Recorder)

##### 16～17世紀に大活躍。大小さまざまなサイズあり

リコーダーは、小鳥がさえずるという意味のラテン語 (record) が語源で、14世紀頃にヨーロッパで生まれたといわれています。吹き込み口のすぐ下に、空気を通る細いすき間があり、息を吹き込むと、この中の空気が振動して音が出る仕組みになっています。

最初は、大道芸人や吟遊詩人の間で使われていましたが、やがて16世紀になると王侯貴族の間で人気を呼び、リコーダーのための曲がたくさん作られました。しかし、18世紀に入ると、横笛 (フルート) に人気を奪われ次第に使われなくなり、再び脚光を浴びるようになったのは20世紀になってからのことです。

リコーダーには、音域によって、手のひらに収まる小さなものから2メートルを越す長いものまで、大小さまざまなサイズがあります。今回、江崎さんが演奏したのは、小学校で習うソプラノリコーダーのほかに、とても高い音の出るソプラニーノリコーダー、ソプラノリコーダーよりも低い音域のアルトリコーダー、ルネッサンス時代に使われた古いタイプのリコーダーであるガナツシリコーダーの4種類です。

#### ●オーボエ (Oboe)

##### ルーツは葦笛。甘くて柔らかい美しい音色が自慢

オーボエは、植物の葦の茎を加工して作った、リードと呼ばれる薄い板を振動させて音を出します。その祖先は世界中に見られ、すでに紀元前3000年頃のメソポタミア地方では、同じような仕組みの楽器が使われていたそうです。

現在のオーボエは、トルコの音楽隊に使われていた、シャルマイという2枚のリードを持った楽器が13世紀頃にヨーロッパに伝わり、イギ



リスでショーム、フランスでシャリュモーと呼ばれて親しまれるようになったのが始まりです。

オーボエの音色は甘くて柔らかく、特に高音の美しさに特徴があります。それもそのはず、オーボエはフランス語の「オーボワ (hautbois) (高い木)」が語源。つまり高音を出す管楽器という意味で名付けられたのです。

江崎さんが演奏したのは、バロック・オーボエと呼ばれる古いタイプのオーボエです。現代のオーボエのように、金属製のキーがついていないため、一見リコーダーのようにも見えます。

#### ●サクソ (Sax)

##### 木管？ 金管？ 両方の特徴を兼ね備えた人気楽器

ジャズやポピュラーミュージックでおなじみのサクソスは、19世紀に発明された比較的新しい楽器です。正式にはサキソフォン (Saxophone) と呼ばれ、ベルギー人のアドルフ・サクソという人が発明したことから、この名が付けられました。楽器本体は金属でできていますが、クラリネットと同じようなリードを使って音を出すので、木管楽器に分類されています。

サクソスといえば、豊かで温かみのある音色が魅力です。出る音の高さによって、ソプラノからコントラバスまで大小さまざまなサイズがありますが、中でも最もよく演奏されるのが、人間の声の音域に近いアルトサクソス。江崎さんが今回演奏したのもアルトサクソスです。吹奏楽やジャズでは欠かせずこのできない楽器となっています。



ワークショップ&コンサートを終えて

## この体験が宝物になってくれたら



**江崎 浩司**

リコーダー、バロック・オーボエ、サクソ

リコーダーを通して、短い時間でしたが皆さんと触れあう機会を持つことができ、とてもうれしかったです。リコーダーは小学生のときに習うため、いわば「勉強」のイメージがとても強いものになってしまいがちですが、参加者全員で一つの曲を演奏するという姿勢のワークショップは、一人ひとりがさまざまなやり方で曲に取り組む、個性あふれるものでした。

指から覚える子ども、得意な音から取り組む子ども、隣の子どもの音が気になる子ども、独創的な運指でも吹いてしまう子ども、などなど。正面から子どもたちを見て、それはもうこちらが楽しくらいでした。曲は少しむずかしかったかもしれませんが、そのメロディーのきれいさ美しさは決して学校で習うものではないので、心のどこかに置いてもらえれば、うれしい限りです。

将来大きくなって、この曲を引っぱり出して「良い曲だなあ」と再認識するときはあるなら、それこそが音楽の力だと確信してやみません。その通り、僕は今になって自分の幼い頃に出会った曲の宝箱を、感激とともにひっきりかえしているのですから。

● Koji Ezaki

1971年札幌生まれ。幼少の頃からリコーダーを始める。中学3年時に全日本リコーダーコンテストで金賞、高校2年時に銀賞受賞。95年、桐朋学園大学古楽器科卒業。翌年、第10回古楽コンクールにて第2位受賞。2000年にはアンサンブル「ラ・フォンテーヌ」のメンバーとしてプリュージュ国際コンクール・アンサンブル部門第2位および聴衆賞を獲得している。現在「タブラトゥーラ」「パツハ・コレギウム・ジャパン」「ラ・フォンテーヌ」等のメンバー。

オーボエのお父さん、お母さんにあたる楽器です」と、江崎さんは説明します。リコーダーと違い、リードと呼ばれる、葦を薄く削った細い板を震わせて音を出します。曲はヘンデルのオーボエソナタ。その美しい音色に大人も子どももしばし耳を傾けます。演奏が終わると、大きな拍手が起りました。

この日、江崎さんが演奏した楽器は、バロック・オーボエをはじめ、子どもたちが吹いていたリコーダーよりひと回り大きいアルトリコーダー、小さくてとても高い音が出るソプラニーノリコーダーなど6種類。それぞれの楽器や演奏する曲の解説などを交えながら、さまざまな音色を披露してくれました。アルトサクソによるジャズの名曲などもあり、1時間があっという間に過ぎたコンサートでした。

参加した子どもたちからは、「ちょっと難しかったけど、吹けるようになったのでうれしかった」「いろんな笛があったのにはびっくり」「もつと練習して、お兄さんのようにうまく吹けるようになりたい」という感想が聞かれました。この体験をもとに、これからもいろいろな楽器や音楽に親しんでもらえるとうれしいですね。

